

# 互いの個性を尊重し 誰もが暮らしやすいまちに

前橋市は、障害者などの自立と社会参加の実現を目指し、さまざまな障害福祉サービスを提供しています。  
「全国ろうあ者大会inぐんま」では、前橋ならではの工夫で参加する聴覚障害者や関係者をおもてなしします。

問い合わせは 障害福祉課 ☎027-220-5711



## 自立と社会参加のためには 「コミュニケーション」が大切

障害のある人が、地域で自立して生活するには、障害の特性に応じたコミュニケーション手段の確保などが重要です。

ここでは、本市が行う聴覚障害者への意思疎通支援事業などを紹介します。

### ■手話通訳者設置事業

手話通訳者を市社会福祉協議会に配置し、本市に登録する手話通訳者や要約筆記者の派遣調整などを行っています。

### ■手話通訳者・要約筆記者派遣事業

本市に登録する手話通訳者と要約筆記者を聴覚障害者などからの申請を受け、現地に派遣。手話通訳や筆記、パソコンを使用して聴覚障害者などの意思の疎通を支援しています。

### ■盲ろう者向け通訳・介助員派遣事業

視覚と聴覚に重複して障害のある盲ろう者からの申請を受け、通訳・介助員を現地に派遣。意思疎通と社会参加の支援を行っています。

### ■手話奉仕員養成研修事業

聴覚障害者の意思疎通を支援するため、手話のできる市民を養成しています。



手話は重要なコミュニケーション手段

■手話通訳者・要約筆記者養成事業  
手話実技や要約筆記などの指導を行い、手話通訳・要約筆記者を養成しています。

■盲ろう者向け通訳・介助員養成事業  
通訳・介助の実技などの指導を行い、盲ろう者向けの通訳・介助員を養成しています。

■補装具費の支給・日常生活用具の給付  
聴覚障害者の自立や意思疎通を支援するため、補聴器などの補装具費の支給をしています。また、屋内信号装置やファクスのなどの通信装置の給付も行っています。詳しくは問い合わせるか本市ホームページをご覧ください。

## 使ってみました！コミュニケーション支援ボード



01 注文時にコミュニケーション支援ボードを提示(撮影協力：パーラーレストランモモヤ)



02 指さしでメニューや個数を注文。筆談よりも時間もかからず、注文もスムーズ。



03 注文どおりの品物が届き、いただきます！

**指さしで会話を支援  
前橋ならではのおもてなし**  
6月10日(水)から14日(日)まで、「全国ろうあ者大会inぐんま」がヤマダグリーンドーム前橋をメイン会場に開催されます。前橋市ではこれに合わせ、県聴覚障害者連盟と連携し、大会期間中に聴覚障害者が宿泊するホテルや市内中心部の飲食店などにコミュニケーション支援ボードを配布。聴覚障害者の意思疎通を支援します。



### コミュニケーション支援ボードって？

コミュニケーション支援ボードは、聴覚障害や知的障害などの理由で話し言葉でのコミュニケーションが困難な人との意思疎通を支援するための物。言葉でうまく伝え合えないときにコミュニケーション支援ボードを差し出し、必要な項目を指さしながら会話をします。コミュニケーション支援ボードを活用して前橋ならではのおもてなしを目指します。

## スムーズに意思疎通が 便利です



市聴覚障害者福祉協会会長  
飯島 豊さん 70歳

全国ろうあ者大会の開催に向けて、開催地としてさまざまな準備を進めています。  
コミュニケーション支援ボードがあれば、飲食店での注文がとてスムーズになり、お店にも入りやすくなると思います。  
大会で前橋に来られた人にもこれらを活用していただき、楽しいひとときを過ごしてもらいたいと思っています。

## 山本市長も手話でごあいさつ

全国ろうあ者大会の開催に合わせ、山本市長が手話でごあいさつ。前橋の魅力などを紹介しています。



右の二次元コードを読み取ってご覧ください。前橋市公式YouTubeチャンネルにも掲載しています。

